

# 「過労で適応障害」大阪府を訴えた教諭

過重労働が原因で適応障害を発症したとして、大阪府立高校で働く世界史教諭の西本武志さん(54)が、高校を運営する府に損害賠償を求めた訴訟が大阪地裁で結審した。現役教諭が勤務を続けながら「雇い主」を相手に裁判を起こした上、名前や顔を明らかにして記者会見を行い、「正々堂々と戦う」と言い切った。判決を待たず、西本さんは何を思うのか。



取材に応じた西本武志さん  
大阪府豊中

## おかしなことは おかしいと 声を上げていい

業務の負担がシビアに達したのは、2017年の夏だった。世界史の授業、クラス担任、卓球部とクラブ1部の顧問といった仕事に加え、寮の問題との生徒の語学研修の準備も指示された。

「心身共にボロボロです」「いつか過労死する」。1カ月間の時間外労働が150時間(週10時間)に達し、校長に対し、頻りにメールで苦境を訴えた。語学研修から帰国後、2カ月あまり休職。その間に「適応障害」と診断され、18年2月から再び約1カ月半休職した。

そして19年2月、府に慰謝料など約300万円の支払いを求めて提訴した。「先生の長時間勤務について、社会全体で考えてもらう裁判です。名前を明らかにして記者会見を開いたため、翌日、教諭から質問攻めに加え、自身の労働環境や病状について話す機会ができた。

「おかしなことはおかしい」と声を上げていい。そんなメッセージが伝われば、自身

の行動が生徒の気づきにつながる。今年2月には公務災害の認定を受け、適応障害と業務との因果関係が認められた。自分の仕事が以前より減り、改善してきた分、しわ寄せが同僚職員の後輩に向いているように感じる。「自分の病気が治っても、別の誰かが倒れてしまう。悪循環を断ち切らな

い」と。判決は6月28日、大阪地裁で言い渡される。(巻末)

# 教職員5180人 精神疾患で休職

文科科学省のまとめでは、西本さんのように、精神疾患で休職した教職員は2020年度、全国で5180人発生した。日本教職員組合が昨年、全国の千人を対象に実施したWEB調査では、24時間勤務が1週間平均で2時間11分続いた。「過労死

ライン」とされる月80時間を超え、文科省が19年のガイドラインで定めた「月平均時間360時間」も実現していない。一方、地方公務員災害補償基金のまとめでは、この1年間に精神疾患などで公務災害を申請した小中学校の教職員は238人、認定されたのは10人。東京大学の

小川正人名誉教授(教育行政学)は「申請件数が少ないのは異様だ」と指摘する。教育現場では、多くの仕事に「教職員の自発的な活動」とみなされる。残業代が出ないのは、校外学習、修学旅行などの行事、職員会議、非常災害や緊急会議、非災害や緊急会議、「超勤」項目だけ。教職員の教員に月給の4%を上乗せして一律支給する仕組みが定められているが、

「定額かせぎ放題」の制度と受け止められている。小川名誉教授は「公立学校の教員にも民間企業と同様の勤務時間の管理が不可欠。教職員給与特措法は、労働基準法とのダブルスタンダードを生みだしている」と指摘する。近年の教育現場では、部活動の負担軽減のため、地域住民に支援してもらう態勢整備が進む一方、ICT(情報通信技術)の促進により、教職員自身が端末操作を習得する必要がある。新たな業務も増えている。

強迫的教員である西本さんの公務災害認定について、小川名誉教授は「同様の認定を後押しする可能性がある。安心して働ける職場環境を作るための良い先行事例」と評価した。(安井建徳)

### 教育現場で残業代が出る業務(超勤4項目)



### 他の業務は「職員の自発的な活動」

## 堀江謙一さん 83歳の挑戦



## 紀伊へ着実に 来月2日にもゴール

ヨットで世界最長高齢での太平洋横断に挑んでいる海洋冒険家の堀江謙一さん(83)が28日、紀伊半島の南500キロほどの地点まで達

らえた。白ワインドブレーカーにベジューの短パン姿の堀江さんは、本社艦に向かつて手を振っていた。「体調は悪くない。向かい風が強くてなかなか前進できないが、地道に進んでいきたい」と話した。

堀江さんは3月26日(現地時間)に来サンフランシスコのゴールデンドール

## 吉田さん 減量実った

足を運んで弥生時代のことを学んだりたりする父親の姿を見て結果を楽しみくれるようになったという。テストをきっかけに弥生時代への関心だという吉田さん。パフォーマンスで、人なに何かに興味を持って博物館へ行くとはなかった。手裏の勾玉も披露冠を勝ち取った。

県の平井伸治知事から上寺朗をかたどろフィーを受け取り、「すごいそっくりが集まっている中で選んでいただき、栄です」と語った。全員が集まるこの瞬間を心待ちにしていたという。「実際にいすると、やっぱりみんな自分の親戚に似ていて面白かった」(大久保直樹)

25	6	9	12	15	18	21	24	30(月)	31(火)	1(水)
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
札幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名古屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那覇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



**天然無害、安全安心。**  
千倍(1Lの水に1cc)から10万倍に水で薄めて土壌灌水、葉面散布します。種や根や挿し木を千倍油に漬けることも効果的です。

**HB-10I**  
350cc入り... 1,000円  
100cc入り... 240円  
500cc入り... 1,050円  
1L入り... 1,600円

※2回目以降10,000円(税込)以上のご注文の方は送料無料。10,000円未満の方は送料700円。

**世界中のプロ農家が  
日本のHB-10Iを  
使い続けるわけは、**

- 1 植物が超元氣になり、きれいになり、おいしくなり、大きくなり、収穫が増え、
- 2 農薬の使用量が減少し、
- 3 日本と日本製品に対する厚い信頼があるからです。

HB-10Iは杉、松、オオバコから抽出した天然植物活力液です。花、野菜、米、キノコ、樹木、山野草、盆栽、芝生、茶葉、ハーブ、水耕栽培の植物等すべての植物にお使い頂けます。人間にも動物にも安全無害です。千倍、十萬倍に水で薄めて使うのでとても経済的です。

**いてつらい! ケラチミン**  
20%尿素配合クリーム